

ファミリーサッカーフェスティバル

7月21日(日)に県立大学サッカーグラウンドで盛岡YMCAファミリーサッカーフェスティバルが行われました！総勢52名の子どもたちが集まりアツい試合を繰り広げました！その中で初めて出会った子どものチームでも一緒にサッカーをしたり、遊んだり、ご飯を食べたりしているうちに最初来た時には緊張していた子たちも段々と笑顔が増えていきました！中学生が小学生と遊んでいたり、小学生が中学生が試合しているのを見ていたり世代年代関係なくお互いを意識していました！一日を通して父母の方々のご協力もあり、子どもたちからリーダー、あの会場にいた全ての人が明るく楽しくサッカーをしてみました！これからも様々な場面で子どもたち、リーダー含めいい顔が沢山見られる活動をしていきたいと思えます。



盛岡大学児童教育学部2年
向平 悟(ジーパンリーダー)

こぼれ種30

「過ぎ行く夏(とき)に思うこと」
日本基督教団内丸教会牧師
(元日本YMCA同盟 主事) 中原 真澄



今年の盛岡の夏は昨年より余程すずしく、暑い期間も短く、楽な年でした。お盆に東京から家族で訪れた姉は、午後の日射しの中「こんなに歩いて汗ばまない。ラクウ〜！」と、涼しい岩手の夏を満喫して帰って行きました。でも気温とは別に激しい雨のため、近しい中にも被害を被った方があり、先月も記した地球温暖化の影響に違いない!!と改めて思ったことです。

朝晩の風に肌寒さを覚える昨今「夏が終わったねえ」と夫婦で会話をしますが、この時期、過ぎ行く夏に一抹の名残惜しさを覚えるのは私だけではないでしょう。その最中は大変でも、過ぎ去る頃には懐かしさを覚える…<時>への愛惜の情かも知れません。そして季節だけでなく、育ちゆく子どもの成長を見るとき、ひとしお感じるものです。

子どもの夏休みが始まる親は「どうやってやり過ごそうか」と頭を悩ませますが、無事に夏休みを終え、一段と遅くなった子が学校に通い出すと、こうした休みをあと何年、一緒に過ごせるのだろうか…、そんな思いが胸をよぎるのではないのでしょうか。精々15年に満たない年が過ぎると、イヤでも子どもはそれぞれの夏、それぞれの休みを過ごし始めます。寂しいけれど、それでいいのです。親は、そうした自立に必要な体験をどれだけ積ませて来たかが、むしろ問われるのですから。

今年は豪雨で中止になったキャンプがあり、YMCAも温暖化の影響を受けました。でも「想定外」にも即応した動きを取れるところにYMCAの強みや良さがあることは、保護者の方々は既にご存知と思います。子ども達もまた、想定外の中で道を見つけ楽しむ体験は、これからの歩みの中で大いに力を発揮することでしょう。与えられた正解ではない答えを見出す力…YMCAが普段の活動の中で大切にしてきた事柄です。

我が子よ、主の諭しを拒むな。主の懲らしめを避けるな。
かわいい息子を懲らしめる父のように、主は愛する者を懲らしめられる。
(箴言2章11〜12節)

9月の予定

★9月8日(水)
9月サンデースクール「パン作り」
(於：おでって5F 生活アトリエ)

★9月21日(土)〜22日(日)
9月アドベンチャー
(於：秋田県仙北市 思い出の湧分校)

～表紙の写真よ～



ジュニアユース、中3にとって最後の試合。OBもたくさん応援に来てくれました。

(8月18日 運動公園にて)

子どもが作る物語

「クルンきゅうしゅつ大さくせん」①

作：佐々木 拓実 (ぶらいむ・たいむ本町校) 桜城小2年

まほうの森に、プクプクというシャボンのまほうがつかえる虫がいました。まほうの森の虫たちは一びき一びき、つかえるまほうがびみょうにちがうのです。プクプクがあさおきて、天気がいい日なのをたしかめると、「たんけんしにいこう。」さっそくシャボンに入って、「しゅっぱつしんこう。」



しばらくすると、シャボンにかみがかくつてしまいました。「あれ？なんかかいてある。なんだこりゃ。ふんふん。なんだって！クルンがさわられた！？」クルンはプクプクの友だちです。クルンがたいへんなことになったときは、プクプクもだまってはいません。「たんけんはやめ。クルンをたすけなさい。あつ、ばしょがかいてある。」プクプクはかくごをきめて、「よし。そのばしょにちようときゅうだ！さいこうそくどで！！」…つづく。

拓実ちゃんは、本町の学童に通う、お話がとっても大好きな2年生です。拓実ちゃんが書いてくれたお話を、しばらくこちらで連載してゆきます。

ほかのYっ子たちのたのしい物語も募集しています♪

感謝

2013年度 順不同・敬称略

●三十周年記念史賛助会員
長岡正彦、竹内一真、水野雄二、田村浩之、伊藤真一郎、岩崎スエ、雲丹谷三子代、今松桂子、森山日葉乃、南原良哉(株)盛岡ユニホーム、盛岡南トライビン、グスクル、井上修三、井上優二、宮崎幸雄、濱塚秋二、阿部晴、倉石昇、岩手トヨペット盛岡支店、神谷幸男、水田賢次、諏訪治男、名古屋恒彦、山本常雄、吉崎陽、工藤泰、中原真澄、加藤明宏、伊藤克見、小藤雄二、三田弘子、伊藤洋子、伊藤光、伊藤恵嗣、伊藤雄基、吉田のり子、石崎一之、石崎稜、朴正浩、山本英志、花田暁、千葉代子、佐藤翔、吉本貞二、鈴木下恵合子、及川忠人、及川茂夫、大和田浩二、菊池崇太、小畑孝子、朴正浩、飯島隆輔、菰刈光彦、熊谷江、越前谷洋子、清水弘一、池田勝一、深澤秀男

●維持会費
花田暁、角谷晋次、角谷千代子、山澤美和、松尾聡子、石崎一之、池田二郎、佐藤翔、高瀬裕彦、村田弘美、長岡正彦、名古屋恒彦、熊谷力貴、大関靖二、早谷太、古和田周吾、及川茂夫、及川忠、一戸貞文、坂春希、伊藤克見、鬼柳忠彦、濱塚れい子、清水弘一、谷藤敏多、吉崎陽、重石桂司、川守田浩、工藤直一、田村治之、北田アユ子、熊谷一郎、岩崎スエ、今松桂子、斎藤稜太、桑原良幸、増田隆、佐藤淳史、松々木多恵、守下昌輝、水田賢次、石渡隆司、今野健男、今野聖子

●寄付金
花田暁、佐藤翔、高瀬裕彦、杉田弘美、古和田周吾、及川茂夫、及川忠、一戸貞文、早坂春希、伊藤克見、清水弘一、吉崎陽、川守田浩、中屋重正、今松桂子、増田隆、水田賢次、石渡隆司、今野健男、今野聖子

MORIOKA YMCA NEWS

2013年9月号

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的传统に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: http://www.ymcajapan.org/morioka/

「もっと書きたかったが…(笑)」

及川 傑 (盛岡YMCAベスト・キッズOB)

僕は、「サッカーに関連した仕事に就く」という目的を実現するために、大学で勉学に励んでいる。このような道を選択することになった大きな要因は、YMCAでサッカーをしたことでサッカーの楽しさや面白さを心の底から感じる事ができたからである。

YMCAのサッカーにはじめて出会ったのは、小1の6月頃だった。褒め上手なリーダーたちに乗せられることでサッカーがどんどん楽しくなり、もっともっとうまくなりたいとも思うようになった。そこで小2でベストキッズに入り、ますますサッカーにのめりこんだ。入った当時のベストキッズは人数も少なく、試合はなかなか勝てず、自分も負けることに慣れてしまっていた。しかし、眞太郎の指導やリーダーのサポート、そしてみんなで自主的に集まって練習やディスカッションした甲斐あって、小5、6のときは試合にも数多く勝てるようになり、本気で全国大会を目指すまでのチームとなった。結局、県で優勝するという経験はできず、小6の全少県予選で負けたときの「もうこのチームで全国

を目指すことができないのか」という悔しさと、かもめのたまごセーラーカップで敗戦が濃厚になった時に、このチームでのサッカーが終わってしまう事が悲しすぎて試合中に泣きながらプレーしたことは今でも忘れられない。今振り返ると、これだけ悔んだり悲しんだりできたのは、「自分たちのサッカーをして、思いっきり楽しむ」というYMCAのサッカーが今までで一番楽しいサッカーだったからだと思う。忘れられない思い出であり、僕がサッカーをしているうえでの大きな財産となっている。

他にもYMCAでは、スキーキャンプや野外活動などを通して、たくさんの経験をさせてもらった。そこでリーダーやハマちゃんをはじめとしたスタッフのみんなが、僕たちと一緒に本気で笑ったり、怒ってくれたりしたことに感謝している。

(写真は小学3年生の頃の傑くん八幡平サッカーキャンプにて)



☆サッカー三昧、そして山での夏☆

8月はキャンプシーズン！今年はサッカーキャンプ、山のキャンプが行われました。どちらのキャンプも子どもたちの素敵な笑顔が溢れていました。それぞれのキャンプのメインリーダーからキャンプの様子を紹介してもらいます！

また、当初予定されていた湖畔のキャンプは初日8月9日の豪雨により土砂崩れが発生し道路が遮断されたうえ、周囲の川も氾濫していたので安全を考慮してやむなく中止となりました。子どもたちもリーダーも楽しみにしていただけあってだいぶ残念ですが、無事に帰ってくるのがなによりでした。

サッカーキャンプ

7月31日から8月3日まで岩手いこいの村でサッカーキャンプをしてきました。キャンプ初日、初めて会ったメンバー、今まで会ったことのあるメンバー様々集まりました。いこいの村に着いてからは昼ごはんを食べ、食べ終わってから体育館へ移動し練習スタートです！小学校2年生から中学校3年生まで学年関係なく全員で練習をしました。練習が終わると中学校3年生は勉強タイム！勉強へ向かう背中はどこか哀愁を漂わせていました(笑)残りの中学生と小学校5・6年生はトレーニング、4年生以下は部屋でフリータイムと各学年それぞれの過ごし方をしていました。その後は風呂へ行き、高学年が低学年のお手本となり、ルールやマナーなど教えていました。夕食後はナイトプログラム！ミニゲーム大会をして学年バラバラでチームを組みゲームで盛り上がりま

たり、ただ無心に遊んだり各チームそれぞれの過ごし方をしていました。キャンプ三日目、朝の集いではチーム毎に文字集めを行い体育館に巻き散らかされた文字たちを集めてお題に沿った言葉を作るというゲームをしました。各チームお題に合う言葉は何なのか話し合いながら目当ての文字たちを探していました。三日目は午前・午後とチームで過ごす時間となっていて、体育館へ行き練習をするチーム、ユニフォームを完成させるチーム、チームのメンバーとの会話や関わりの多い時間となりました。午後の途中からはみんなでBBQ!!!お肉に野菜、おにぎり。たくさん食べました！途中BBQなのにピジャピジャの水浸しになっているリーダーや子どもたち、山登りを始めちゃう子、このあとに待っている勉強を嘆く子など様々な顔が見られました!!ナイトプログラムの時には岩手山カップの組み合わせ抽選会が開催され各チームキャプテンが決意表明をし組み合わせを決めました。

キャンプ二日目、午前の練習では前半は全体で練習して後半は5年生以下と6年生以上に分かれて練習しました。楽しみながらも真剣に取り組んでいました！午前の練習が終わって、昼ごはんを食べた後はプール!!リーダーが競泳したり、みんなでカッコ良く飛び込む瞬間の写真を撮ったり、浮いているビート板の上を走ってたりと色々な遊びが繰り広げられていました！ナイトプログラムでは岩手山カップのチーム発表が行われ、ドキドキワクワク自分は誰と同じチームでどのリーダーがチームのリーダーになるのか緊張した様子で自分の名前が呼ばれるのを待っていました！チーム発表があった後はチームで過ごす時間となり、チーム名を決めたり、ユニフォームのデザインを考え



↑ チーム「アゴッチFC百27」



↑ 中3は勉強もしっかりと…。



↑ サッカーキャンプメンバー全員集合



↑ BBQでスタミナつけて!!



2日目 → ナイトプログラム前のフリータイム。グループのメンバーで。



← 1日目夕食。カレーライスを目の前に、いただきますが待ち遠しい!!

→ 1日目プログラム看板作りの説明をしているところ。



山の生活体験キャンプ

今回の山のキャンプは、子ども36名、リーダー7名、スタッフ1名の総勢44名というこの夏のキャンプ最多人数でとても盛り上がりました！

一日目！到着してから、みんなで看板作りを行いました！手を使って板に色々な色を塗ったり、リーダーの服に手跡を残したりして騒ぎ、はしゃぎました。そのあとは、不運にも雨。そのためテントから出ることが出来なかったのですが、各テントで、ウノのゲームで盛り上がりたり、てるてる坊主作りをしたり、なぜか腹減ったコールドで盛り上がっているところなど、笑い声がたくさん聞こえ、雨にも負けず、楽しい時間を過ごしました。夜は、グループごとに別れてリレー対決！風船を使ったリレーではいい勝負！どかが勝つのかハラハラドキドキのリレーでもとても盛り上がりました。汗をかいた後は、お風呂タイム☆新しくできたこのお風呂は木造作り！雰囲気がよくずっと入っていたいようなお風呂！みんなで浸かり、きれいさっぱり。遊び疲れたのか、皆寝袋に入るとあっという間に就寝しました。

二日目！一日目が雨だったとは思えないほどのいい天気！朝から子どもたちは元気いっぱい虫取りに夢中！吊り橋まで行く途中、カナヘビをたくさん見つけ大喜ぶする子たち！他にもカマキリやクワガタ、セミ、トンボなどたくさんの虫に出会い、捕まえるのに必死な子や、「見て見て!」と、とても嬉しそうにしている子どもたちの笑顔がたくさん見られました！そして、この日の夜はバーベキュー。みんなでピーマンやナスなどを切る調理担当と火付け担当に

分かれ、それぞれ協力し合い作ることができました。お肉がとても大人気で、おかわりが続出！この日はデザートのスイカもあり、お腹いっぱい食べ満足そうにしていた。そしてそのあとは、キャンプファイヤー！森の精が来て皆でアルプスを踊ったり、アブラハム、猛獣狩りなどなど、最後の夜をとても楽しくはしゃぎ倒しました!!

三日目！最終日！この日もとてもいい天気！青空の中、みんなで手つなぎ鬼をしました。リーダー対子どもたちで大盛り上がり！それからグループごとで朝ごはん。この日の朝ごはんはサラダうどん！きゅうりやスイカもありとても満腹！お皿を洗い、荷物を整理したところから、フリータイム！ここでも探検に行ったり、虫取りに出かける子どもたちが多く、最後のフリータイムのためか、全力で虫に注げる子など思い思いの時間を過ごしました。

今回の山の生活体験キャンプでは子どもたちの様々な表情を見ることができました。虫を捕まえて嬉しそうに自慢する顔、捕まえられなくて悔しい顔、グループの子もたちと楽しそうに遊んでいる姿はとてもキラキラしていました！今回のキャンプをこの44名のメンバーで、行くことができとても楽しく嬉しかったです！また子どもたちのいろんな表情を見たい！また皆とたくさん遊びたい！と強く思う私、ゴリナからでした☆たくさん楽しい思い出をありがとうございました♪

山のキャンプメインリーダー 岩手大学2年 武田 悠 (ゴリナリーダー)

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 8月報告書

＝思い出いっぱいの夏休み＝

今年の宮古ボランティアセンターは新しいプログラムも含め、多くの子どもたちや地域のみなさんとのふれあいの時が過ぎました。8月の主なものは以下の通りで、

- 3日(土)～5日(月) 小学生の「田沢湖サマーキャンプ」(秋田県田沢湖市)、
- 6日(火) 日赤看護大学のみなさんによる「ヘルシークッキング」(河南仮設住宅)
- 8日(木)～11日(日) 短期水泳教室
- 12日(土) 「高校生リーダーシップ養成講座:日赤救急法基礎講習会」(地元高校生と神戸の高校生対象)
- 20日(火)～24日(土) 広島YMCA26名滞在による「納涼会」(仮設住宅2箇所)や小学生登校の「交通安全あいさつ運動」

田沢湖サマーキャンプは今年も多くの子もたちが参加し、リーダーも全国から集まってくれました。自由遊びに始まり、夜はドキドキワクワク「きもだめし」、田沢湖での湖水浴、ゲーム大会…夜のゲーム大会のあと、疲れて目もうつろの場面も…。朝から寝るまで思う存分遊びまくりです。今年から始まった宮古市立津軽石小学校での短期水泳教室を実施しました。低学年中心のにぎやか初心者クラスです。残念ながら中日に荒天のため中止になり4日のみの実施でしたが、みんな泳力を高め自信を持ってました。中には顔つげが苦手な子目をあけて潜れるようになり、かつこい「ドヤ顔(?)」を見せてくれました。

リーダーの間でも新しい出会いやつながりが生まれ、涙を流し出逢いの喜びを実感する場面もありました。地元高校生もたくさん参加してくれてボランティアによる「教育」こそ、やがては「郷育」に変わっていきます。一過性のかかわりではなく継続的なつながる3年目の夏でした。

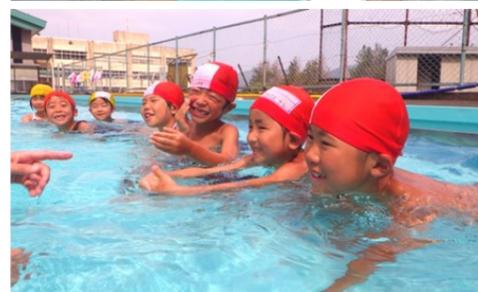
宮古ボランティアセンター長 木田 泰之



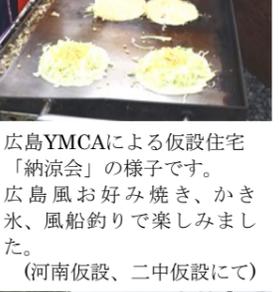
← 田沢湖キャンプ「サマーキャンプ」今年で2回目の田沢湖でのキャンプ最高の天気と楽しい仲間。あっという間の2泊3日でした。



← 「日赤ヘルシークッキング」日本赤十字看護大学との共同実施。電子レンジの使い方や簡単な調理方法を学びました。レンジの使い方と包丁さばきは互いに教え合いです。



← 津軽石小学校「短期水泳教室」涼しいプールで気持ちいい!!



広島YMCAによる仮設住宅「納涼会」の様子です。広島風お好み焼き、かき氷、風船釣りで楽しみました。(河南仮設、二中仮設にて)



↑ 「日赤救急法基礎講習会」いのちを大切に真剣に見つめる講習会

